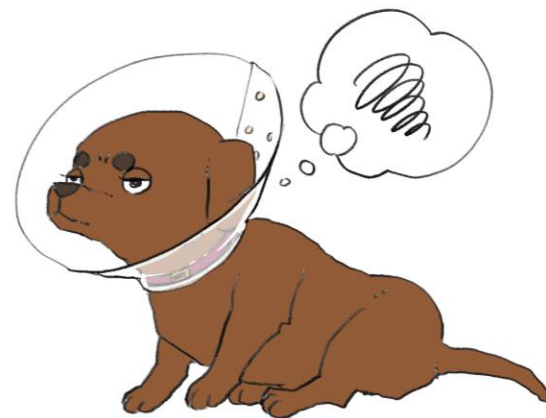


犬や猫が手術や怪我によって外傷を負ったとき、その傷を自分で舐めて悪化するのを防ぐために使用される「エリザベスカラー」。

しかし一定期間常に装着させる必要があるため、動物にとってさらなるストレスを与えかねない課題がある。

例えば...

- ・犬がエリザベスカラーをつけたまま散歩をすると、その縁が地面のコンクリートの溝に何度も引っかかることで喉や肌が圧迫される。
- ・餌を食べるときに、エリザベスカラーが床や食器に当たることで動物は俯くことができず、不便な体勢を強いられる。
- ・さらにこれらの負担を繰り返すことで、動物の首の肌は摩擦によって炎症を起こすことがある。



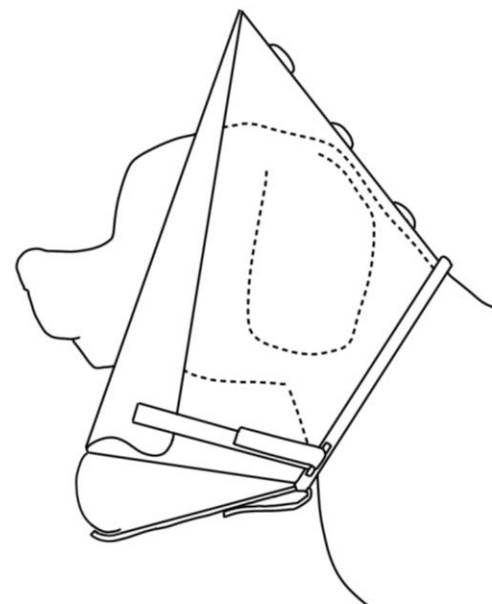
【解決手段】

従来のベル型エリザベスカラーの一部を、散歩や食事などの場合に、周囲の障害物と接触しないように変形させられる仕組みを導入する。

プラスチックシートに切り込みと折り目を入れることで形成された花卉部の外縁近傍に、テープの一端を固定する。さらに内縁近傍に設けた通過部にテープの他端を通し、適量だけ引き出して例えば一对のファスナー面を接合させることで、シートを花卉のように反り返らせることができる。

【作品内容】

普段は従来のベル型エリザベスカラーの形を保ちながらも、簡単に形を変形させられる仕組みを追加することで、散歩や食事の際には必要以上に動物の行動を邪魔しないアイテムとなった。



変形可能エリザベスカラー